

歌劇 レオノーレ

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン

管楽六重奏&ピアノによる新編曲・ドイツ語歌唱・日本語字幕付

2024年10月13日(日)

13:30開演

(開場:13:00 終演:16:20)

《お問合せ》

株式会社マエストロ

TEL:045-349-6540

携帯:090-2441-5671

《チケット》
《全席指定》

銀座ブロッサム

中央区銀座2丁目15-6

S席10,000円

A席7,000円

1)

E+イープラス

<https://eplus.jp/>

2) FAX:045-349-6541 又は

メール:maestro@music-tel.com 又は
日本橋オペラホームページメールフォームより
お名前・住所・連絡先・ご希望の категорияと
枚数をお知らせ下さい。折返しご連絡します。

～オペラのお誘い～

歌劇「レオノーレ」は、名作といわれるベートーヴェンの歌劇「フィデリオ」の初稿です。1805年ウィーンでのレオノーレ初演が歴史的失敗に終わったことから書き直しを求められ、第三稿がフィデリオです。2つのオペラが一番大きな違いは、レオノーレが三幕なのに対して、フィデリオは二幕に統合されています。その過程でレオノーレから3曲がカットされ、さらにフィナーレが大幅に書き換えられています。また序曲は3回も書き直されています。つまり本公演は、ベートーヴェンの魂の原石を具現化する公演です。私たちはレオノーレ初演失敗の最大の原因が、観客の大半が当時ウィーンに駐留していたフランス人の将校であったこと、そして長大なドイツ語のセリフにあったと考えました。現在のように字幕もない時代ですから、観客は全く理解できなかったはず。そこで本公演は、セリフの大幅なカットをして、音楽でスムーズに進行することを選択しました。この公演が単に学術的に価値があるのではなく、フィデリオもいいけど、レオノーレもいいね・・・もう一回みたい!とっていただける公演にしたいと願っています。

舞台監督:菅野 将

稽古ピアノ:鈴木架哉子 松岡なぎさ

ヘアメイク:リュクミエール

衣装:てっしー

照明・舞台:(株)フルスペック

主催:日本橋オペラ研究会



東京メトロ有楽町線
新富町駅1番出口
東京メトロ日比谷線
東銀座駅3・5番出口
都営地下鉄浅草線
東銀座駅A7・A8・3・5番出口